

令和5年度 水路技術奨励賞（第38回）

少壮の水路技術者の研究開発意欲を振興し、我が国の水路技術の進歩・発展に寄与することを目的として、昭和61年に「水路技術奨励賞」の基金を設け、毎年優れた業績を残した方にこの賞を贈っています。

今年度は令和6年1月30日に水路技術奨励賞選考委員会幹事会、令和6年2月28日に水路技術奨励賞選考委員会において受賞者を選考し、2件4名の方に水路技術奨励賞をお贈り致しました。

受賞者は以下のとおりで、業績は次号でご紹介いたします。（敬称略）

1. スマートフォン用航行支援アプリ new pec smart（ニューペックスマート）のアラート機能の開発

受賞者： 株式会社 マップル・オン
高橋 裕亮
西村 篤人
高澤 宏光

内 容：

new pec は、日本水路協会提供している航海用電子参考図であり、これを搭載したスマートフォン用航海支援アプリが、株式会社マップル・オンが開発した new pec smartです。このアプリにアラート機能を追加したことが今回の表彰の対象となっています。このアラート機能は単に警報が鳴るというのではなく、音声で危険の種類を知らせ、危険の程度に応じて画面の表示が変わるなど、様々な工夫を凝らしています。ユーザーからは大変評判が良く、使い易く安全性が向上したとの声が寄せられています。

2. 多時期の衛星画像と機械学習を用いた浅海域の水深推定技術の高度化

受賞者： 公立鳥取環境大学 環境学部
佐川 龍之

内 容：

従来の水路測量は多大な費用をかけて現地で調査することが必須でしたが、複数の海域の学習用水深データを用いることによって、汎用性の高い水深推定モデルを作成するとともに、多時期の衛星画像を利用して、推定水深を高精度化する手法を考案したものです。これは、水路技術分野においては極めて画期的なことであります。



集合写真 後列左から 北村隆志会長、加藤茂理事長、
前列左から 佐川龍之様、高橋裕亮様、西村篤人様、高澤宏光様



乾杯の挨拶をする
松山優治選考委員会委員長



祝賀会の様子